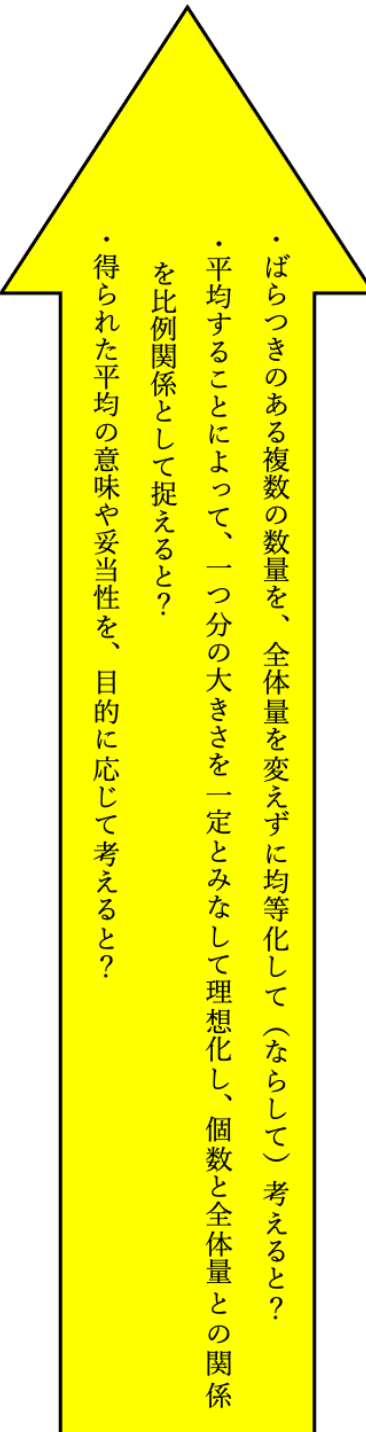


単元 の 評価 規 準	(知識・技能) 平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	(思考・判断・表現) 概括的にとらえることに着目して、測定した結果を平均する方法や平均から全体量を求める方法を図や式などを用いて考え表現している。	(主体的に学習に取り組む態度) 平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
時	主な学習内容	学習を関連付ける 着眼点	各時間の評価規準 (主に□の評価を記録する)
8	複数回の測定値を平均して自分の歩幅を求め、平均した一つ分の大きさと歩数との比例関係を基に、およその道のりを求める。		☐ (思・判・表) 平均した1歩分の長さを一定とみて、歩数と道のりの比例関係に着目し、自分の歩幅と歩数からおよその道のりを求めるとともに、結果の妥当性を考えている。 (態度) 平均の意味やよさに気づき、測定した結果をもとに求めた平均を日常生活の問題解決に活用しようとしている。
7	0を含むデータや分離量の平均について考えるとともに、複数回の測定値を平均する意味を理解し、得られた値の妥当性について考える。		☐ (知・技) 平均を求める目的に応じて、0を一つの値として含めて平均を求めることや、分離量の平均が小数になる場合があることを理解している。また、測定する対象の真の値に近い、より妥当な値を得るために、複数回の測定値を平均する場合があることを理解している。 (思・判・表) 平均を求める目的やデータの性質に着目し、0を含むデータや分離量、測定値の平均が表す意味や妥当性を考え、説明している。
6 5 4 3	平均の考えを用いて九九表に潜む規則性を見だし、その理由を式や図を用いて説明する。さらに、数の個数や並び方などの条件を変え、見いだした関係や規則性が成り立つ条件や適用範囲を検討する。		(思・判・表) 数の並びや隣り合う数の差に着目し、平均・個数・全体量の関係を基に、九九表に潜む数量の関係や規則性を見だし、式や図、言葉を用いて説明している。 ☐ (思・判・表) 個数や並び方などの条件を変え、見いだした関係や規則性が成り立つ条件と適用範囲を捉え、必要に応じて考えを修正しながら、統合的・発展的に考察している。 ☐ (態度) 友達の考えを取り入れて自分の考えを見直したり、問題の条件を変えて確かめたりしながら、よりよい考えを求めて粘り強く取り組んでいる。
2	平均した一つ分の大きさを一定とみて、個数と全体量の比例関係に着目し、全体量や個数の求め方を考える。		☐ (知・技) 平均から全体量を求めたり、全体量と平均から個数を求めたりすることができる。 (思・判・表) 平均した一つ分の大きさを一定とみて、個数と全体量の比例関係に着目し、数直線図や式を用いて、全体量や個数の求め方を考え、説明している。
1	ばらつきのある数量を、全体量を変えずに均等化することに着目し、平均の意味や求め方を考える。		(知・技) 平均の意味と求め方を理解し、平均を計算で求めることができる。 (思・判・表) ばらつきのある数量を概括的に捉え、多いところから少ないところへ移してならす方法と、全てを合計して等分する方法を図や式を用いて考え、説明している。 (態度) ばらつきのある数量をならすことに関心をもち、図による操作と式とを関連付けながら、平均の意味や求め方を考えようとしている。